

令和4年度 第3回 稲敷市外部評価委員会

発言者	発言内容
-----	------

(8) 地区拠点施設における地域づくり支援事業（生涯学習課） 「拡充」

①質疑応答

委員	<p>中心となる公民館はやはり江戸崎だと思っていて、生涯学習の拠点として使われていると思いますが、担当課から追加資料でいただいた公民館の利用状況を見ますと、意外と利用者が少ないと思いました。これは、何か理由があるのでしょうか。</p>
生涯学習課	<p>傾向としまして、ここ2年間、新型コロナウイルスの影響から、施設利用のできない時期も何回かあったかと思えます。また、令和3年度の利用者数ですが、桜川公民館が12,000人、あずま生涯学習センターが15,000人という数字でございますけれども、これには新型コロナウイルスワクチン接種のために来館した方が含まれております。江戸崎地区は公民館ではなく保健センターがワクチンの接種会場となっていましたので、利用者数が逆転してしまったというのが大きな理由になるところであります。</p> <p>もう一つ、江戸崎中央公民館は600人ほど入れる大ホールがあり、あずま生涯学習センターもホールがありますが、新利根公民館と桜川公民館にはホールがございません。新型コロナウイルスの影響でホールを使うような大規模イベントが中止になったことによって、極端に数字に影響が出たと理解しています。令和2年度までは20,000人～24,000人ぐらいで推移していたのですが、新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込んでしまったというのが理由でございます。</p>
委員	<p>中心である江戸崎の生涯学習の熱が冷めているということではなくて、新型コロナウイルスの影響はあったとは言え、他の地区と同等かそれ以上に熱心に取り組んでいるわけですね。</p>
生涯学習課	<p>はい。文化協会の団体の数は江戸崎地区が最も多く、利用率も最も高くなっています。文化祭を地区別に4つの公民館で行うのですが、エントリーされた団体の数は江戸崎が最も多い状況です。</p>
委員	<p>公民館の中の図書室は、今年度から図書館の分館扱いとして移管されたと聞きしましたが、今までと何か違いがあるのですか。</p>
生涯学習課	<p>図書館は、これまで本の貸し出し以外にもイベント等を細かく実施してまいりました。江戸崎中央公民館は施設の貸館を中心に事業を行っており、図書事業については東地区にある市立図書館が活発に行っているようなこともありました。そういうこともあり、今年度からは江戸崎中央公民館の図書室を図書館の分館的な扱いとして、業務も図書館の職員と</p>

	一緒に協調して行えるようにし、江戸崎中央公民館の図書室でもちょっとしたイベント等ができる体制にしていこうということです。
委員	江戸崎中央公民館の職員も、図書事業の需要があるのではないかと、そうすることで公民館への来館者が増えるのではないかという思いがあるということですね。
生涯学習課	活発化するのを期待した状況もあります。また、江戸崎の図書室は3人の会計年度任用職員で業務を回しているのですが、休暇等で人手が不足した際に図書館から人を派遣してもらったりして、職員のやりくりがしやすくなるようなメリットもございます。
委員	江戸崎中央公民館の図書室は、よく借りに行っているのを期待しています。東地区にある図書館は遠くて、あまり行く機会がないのです。図書館としては、江戸崎がやはり中心になるべきだと思います。
委員	桜川公民館には子ども向けの図書コーナーがありますね。大人向けの本はないのでしょうか。
生涯学習課	少ないです。桜川公民館となったのは令和2年4月からですが、図書コーナーを置きたい、というところからスタートしているので、まだ図書施設にはなっていないような状況です。まずは子どもの居場所づくりや子どもとの関わりを目的に子ども向けの本を増やしているところです。
委員	逆に、図書コーナーではなく図書館分館にしてもらって、生涯学習で使わない機能があるなら、図書館分館機能を増やしてほしいと思っています。
生涯学習課	わかりました。
委員	課題や問題点として、WEB 会合にはまだ課題も多いと書いてあります。もちろん対面の場は必要だと思うのですが、例えば、10年後15年後、スマートフォンで全部やりとりをするということが増えてきたときに、対面とWEBを融合するような拠点として、資金的な問題はあるかもしれませんが、例えば配信施設などの新たな形での拠点作りというのも検討されると良いのではないかと思います。今のところ、そういう新たな技術やツールを使った取組は何かあるのでしょうか。
委員	スマホ講座を開いていませんでしたか。とりあえずそういったところから入っていけるといいですね。
事務局	行革・デジタル推進室で、高齢者のスマートフォン購入補助と合わせて、通信事業者によるスマートフォンの講座を開催しています。
生涯学習課	WEBで開催できるようにしていくというのは大きな課題だと思っています。去年は成人式の実行委員会の1回目をWEB開催で行いました。研修などについても、対面で参加する方とWEBで参加する方の両方に対応する形で開催するために、毎回セッティングをしなければならないとい

	<p>うのが今の課題かと思っています。WEB を使用する機会は今後当然増えていくと思いますので、これからの課題であり、行政は、この取組を広げていかななくてはいけない立場なのかなと思います。</p>
委員	<p>もちろん、対面の重要性というのは理解しているつもりですが、例えば、若い人は仕事が終わってから車を運転してどこかに行くくらいだったら、打ち合わせは家でやりたい、という人もいます。ただ、それこそ成人式みたいな集まりは、全体でやった方がいいでしょう。メリハリというか、役割分担みたいなものを考えたときに、運営ができるような設備というものは、予算が許せば、拡充していく方が良いと思います。</p>
委員長	<p>特に地域での人と人との繋がりをもっと深めていくべきだというのは大賛成です。私の研究テーマの1つでもあります。その拠点として公民館を活用するというのは、すごく良いかと思っていますので、是非進めていただきたいと思います。</p> <p>今、ICT の話もありましたが、例えば Free Wi-Fi が公民館にあるだけで、子ども達は絶対そこに来ると思います。とにかく公民館に自然と人が来る仕組み作りというのは、ソフトもハードも含めて色々な手でやっていただきたいと思います。おそらく今までのやり方をずっと続けていてもなかなか人は集まって来ないのではないかと思います。ちなみに Free Wi-Fi 等は、検討されているのでしょうか。</p>
生涯学習課	<p>Free Wi-Fi は既にあります。</p>
委員	<p>公民館でもおそらく入っています。江戸崎だと図書室も使えるのですごく良いのですよ。</p>
委員	<p>それは強くアピールしたいところですね。</p>
委員	<p>生涯学習課とは関係はないと思うのですが、何故稲敷市役所には、コンビニにあるようなマイナンバーカードを利用した証明書の自動発券機が置いてないのでしょうか。というところから、公民館に置いたら良いのではないかと思います。各種証明書も公民館で取れますよ、という拠点にしてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>機械の設置費用がネックなのではないでしょうか。</p>
事務局	<p>江戸崎中央公民館は証明書発行窓口機能がないのですが、新利根公民館と桜川公民館には窓口で証明書を発行できるようになっているので、窓口職員を置くか、発券機を置くかというのは、今後検討していくところかと思っています。</p>
委員	<p>マイナンバーカードを取得してもらうのは、「書かない役所」への第一歩なのですが、何故市役所には発券機が置いてないのだろうとも思うのです。窓口はそんなに混んでないかもしれませんが、人を減らしていくことを考えるのであれば、行革・デジタル推進室と連携して窓口</p>

	<p>に自動発券機などを置いておくことで、人が来やすくなるのではないのでしょうか。その機械の費用が分からないので費用対効果も分からないのですが。</p>
事務局	<p>徐々に取り組みつつあります。9月の定例議会に提案する予算では、コンビニで証明書を安く取れるようにするとか、書かない窓口実現のためにiPad等を窓口置くなど、そういった取組の提案をする予定です。</p>
委員	<p>タッチパネルは良いですね。そういう機械を置いたら、マイナンバーカードも使いやすいですし、そこに可能性を感じます。ただ、高いのはわかっているのであまり言えないのですがよろしくお願いします。</p>
委員	<p>公民館について、色々な世代の人が気楽に行ける空間にしてほしいと思います。私はあずま生涯学習センターをお借りして認知症介護教室とか、オレンジカフェとかをやっていますが、イベントとか教室とか何かがあれば人は来ます。子ども達もどんどん減っている稲敷市の状況を考えると、例えば、子どもの学童を担うアルバイトの女性も減っていて、なかなか厳しい状況です。そういうのも含めて、公民館と学校とが連携して取り組めるとか色々な世代が活用できるような公民館にしていだけると良いと思います。</p>
教育政策課	<p>市の重点事業として「公民館を核としたまちづくり」というのを掲げて実施しておりまして、総合的な調整役を教育政策課でやっております。</p> <p>今、委員からお話がありましたが1事例を申し上げますと、桜川公民館で、子ども達に焦点を当てて重点的に取り組んでおります。図書コーナーでも読み聞かせを行ったり、絵本を中心とした図書の充実を図ったりしているところです。また、若いお母さん方に協力いただいております。先ほど ICT の話もございましたが、こういう事業をやるよという情報をお母さん方の連絡網で流して集まってもらったり、そういった事業を展開しております。</p> <p>また、「ママたちの作戦会議」というものを実施しております。小学校のPTAの若いお母さん方を中心として、作戦会議で色々な事業を計画したり、実際にそのお母さん方が事業に加わって実施をしたりということをやっています。先日も「バスに乗って公民館へ行こう」というような事業を行いました。せっかく桜川公民館にバスが来るのに、子ども達は乗ったことがない、お母さん方も乗ったことがない、ということで、お母さん方の発案で、そういった事業も展開しております。徐々にではありますが、桜川公民館ではそういった取組を実施しております。</p> <p>ただ、4つの公民館は、やはり地域性がそれぞれ違います。桜川で成功したものを、江戸崎でやろうとしてもなかなか難しく、同じものを新利根でやろうとしても難しいと思います。そういった重点事業の1つとし</p>

	て、公民館の運営企画委員会というのを、桜川と新利根で試行的に組織を立ち上げて実施しております。これもやはり地域性がありますので、江戸崎と東でもできるか、実績を見ながら今後取り組んでいかなければと思っています。
委員	運営企画委員会というのは、地元の人が委員になっているのですか。
教育政策課	<p>そうです。昨年から文化祭事業も各公民館で実施しようということで、運営企画委員の方々が中心となって進めています。桜川はプロジェクトチームを組んで、文化祭に向けて今準備を進めております。そこに中学生が入ったり、ボランティアが入ったりしています。</p> <p>先ほどの「バスに乗って公民館へ行こう」の事業などは、中学生と小学生の数がほぼ同じぐらいで、中学生はボランティアで集まりました。毎月1～2回は、「ママたちの作戦会議」を実施しており、色々なお母さん方の意見を聞きながら事業を実施しているところでございます。</p>
委員	今の集まりは大体何人ぐらいなのですか。
教育政策課	今年は30人近かったですね。
委員	1回でですか。
教育政策課	はい。
委員	先ほどの「バスに乗って公民館へ行こう」というのは、10人ぐらい集まったということですか。
教育政策課	子ども達が30人ぐらいです。
委員	「バスに乗って公民館に行こう事業」は1回でですか。すごいですね。想定外の多さです。
教育政策課	今月号の広報紙にも載っていますけれど、バスに乗って公民館に来て、ベーゴマをしたり、あとはスポーツ競技のレクリエーションをしたり、大体半日ぐらい行いました。
委員	今までは、新利根と桜川については地区センターということで、市役所の分庁舎扱いになっていましたが、それを公民館にして、生涯学習施設になったわけなので、すごく期待されています。ですので、そこを上手く生かす取組をしていかないと、宝の持ち腐れになってしまうので、積極的に色々な事業に取り組んでもらいたいと思います。
委員	使用料はどのように設定されているのですか。無料でしょうか。
生涯学習課	貸館は基本的には有料です。特定の用途の際は使用料を減免するとか冷房代はいただくとか等、条例に基づいています。
委員	市内で統一されているのですか。
生涯学習課	そうです。施設だとコミュニティセンターはまた別ですが。

委員	先ほど、体育館の使用料の話になったので少し聞いてみました。東も桜川も、夜の会合や会議も可能なので人気がありますね。
委員	新利根公民館も有効に活用していく方向で進めていただきたいと思います。
委員長	そろそろ時間ですが、何かございますか。
委員	素晴らしい取組が多かったと思います。ただ、子どもに「公民」と言っても伝わらないところがあるので、それを脱却するような取組を是非していただきたいと思います。子どもの頃から利用することはとても重要ですし、中高生になると、あまり使わなくなる事例も多くなると思います。そこを継続的に使っていける取組をしていただければ、小学生から中学生、高校生になっても、公民館は気軽に使える場所という形になり、大人になっても使用すると思います。その連続性を意識して、これからもやっていただきたいと思います。
委員	私くらいの年齢の人は、小さい時から公民館を使っていました。
委員長	昔はそれこそ公民館に若者が集まって、出会いの場だったりしました。一緒に歌を歌ったり、演劇をやったりする拠点だったのですよね。
生涯学習課	<p>2つ思い浮かんだのですが、一つは、夏休みに子どもの宿題のために公民館を開放するというをしております。これは各公民館でもやっていることですが、新利根は部屋を使っていたり、江戸崎はロビーの端に机を並べるだけだったりします。自由な学習スペースということで、これを積極的に使ってもらおうということに取り組んでおります。</p> <p>もう一つは、江戸崎は江戸崎総合高校が近いので、たまり場ではないですが、女子高生が集まってきます。高校生の子達と話をしたら、何か手伝ってくれる、という話になったので、これからの公民館はどうしたら良いと思うか、という話を揉んでもらいました。そこから、若い人が気軽に立ち寄れる公民館になったらよいの発想で、手作りのフォトスポットを作ってくれたのです。今飾ってあるのですが、そういった取組もこれから続けながら、若い人に来ていただきたいと思います。</p>
委員	りんりんロードやサイクリングに関連して、休める拠点としてポスターなどで宣伝してあげるのもいいですね。
委員	桜川公民館はりんりんロードに近いですね。
委員	それは何か地元の盛り上がりの一つになりそうですね。
委員長	ありがとうございました。

②議論

委員長	今回は評価が分かれております。「拡充」が2つと「現状維持」が3つで、一応「現状維持」ということにはなっています。いかがいたしますか。話を伺って結構取り組んでいらっしやった印象はありました。
委員	見つけられませんでした。予算的にはどうなのでしょう。
事務局	各公民館に予算を振ってしまっているの、この事業としての予算がぼやけてしまっているのです。そこについては、我々企画や財政部門では、結果が見えづらいということで、課題意識を持っています。「地区拠点地域づくり事業」という予算事業を作って、そこから各公民館に使ってもらった方がわかりやすいですし、予算と結果が連動するというのがあります。
委員	まだ組んでないからできないのですね。
事務局	はい。
委員	各公民館のざっくりとした執行率はあるのでしょうか。
事務局	申し訳ございません。手元にはありません。
委員	予算関係からのジャッジメントはできませんが、「拡充」でも良いと思います。3担当評価はどのような感じでしょうか。
委員長	3担当評価はまさに今のことが書いてあって、「拡充」となります。
委員	その方が良い感じですね。

③評価判定

委員長	では、評価は「拡充」でよろしいでしょうか。
委員一同	異議なし。
委員長	3担当評価の書きぶりについては、外部評価委員会としてももっともだと思います。せつかくしっかりやっただきっているのだから、明確な推進体制を取ってやっていっていただきたい、という形での「拡充」で。
委員	そうですね。あとは、サイクリング事業と連携してルートの一部にでたらいい、というのは共有してもらいたいと思います。
	<p>→拡充</p> <p>付帯意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングの拠点としての活用も検討してはどうか（桜川公民館はつくば霞ヶ浦りんりんロードにも近い）。